

技能評価システム移転促進事業(SESPP)は日本式技能評価のノウハウを移転するため、ベトナム、カンボジア、インドネシアを対象に日本の専門家によるセミナーや技能評価トライアルを実施しています。事業の運営事務局を株式会社 J T B 霞が関事業部にて受託しております。日本式の技能評価の活用促進が図れるよう、J-Skills Newsでは、事業の取組など、お知らせしています。(年3回発行)

□ベトナム・インドネシア・カンボジアで2021年度現地事業評価を実施

SESPP事業の効果的・効率的な実施を図るため、対象国における技能労働者のニーズの把握、広報手法や取組職種・等級の検証、中長期的課題の把握等を行うことを目的として、活動対象国であるベトナムと3月4日(金)、インドネシアと3月8日(火)、カンボジアと3月11日(金)に官民合同委員会をオンラインによるリモートにて開催いたしました。

メンバーは各国政府人材開発部局、現地訓練校、厚生労働省、SESPP事務局、およびその他本事業に関係する者で構成され、当年度事業の実施状況や成果、次年度実施に向けた提案、意見交換など、対象国の自立運営に向けた事業効果の検証等を議題に開催いたしました。

■ベトナム

日時 参加者	2022年3月4日(金) ベトナム08:30-10:58、日本10:30-12:58 職業教育訓練総局(DVET)、厚生労働省、HIVC、SHTP-TC、VLUTE、SESPP事務局
参加者数	23人 ※政府、訓練校など
今年度実施した 研修の成果	<p>技能競技大会セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報ネットワーク施工職種、プラスチック金型職種 <p>技能検定</p> <p>◀北部(ハノイ)▶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋盤2級 技能評価トライアル(SET) (ベトナム国家技能検定level3として実施) ・CAD製図3級 技能評価トライアル ・機械検査2級 技能評価者講習(SAT)、 <p>◀南部(ホーチミン/ヴァンロン)▶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CAD製図3級 技能評価者講習、技能評価トライアル ・旋盤3級 技能評価トライアル (ベトナム国家技能検定level2として実施) ・機械検査3級 技能評価トライアル ・機械検査2級 技能評価者講習 <p>◀その他▶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本邦研修代替オンライン研修：電気系保全3級の技能評価技法研修 ・ASEAN技能評価担当者セミナー
次年度の職種に 係る主な議論	<p>◀技能競技大会▶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標：技能競技実施体制の強化及び技能競技委員の評価能力のレベルアップ ・日本人専門家によるデモンストレーション・セミナー、技能競技委員の訓練・模擬競技等の実施 ・職種案：プラスチック金型、情報ネットワーク施工 <p>◀技能検定▶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標：SESPP協力職種の国家検定化 ・2021年事業のフォローアップ (SAT/SET/SAC)及び・国家検定化に向けての協力。 ・職種案：CAD製図3級SET/SAC、機械検査2級SAT/SET/SAC <p>◀本邦研修▶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報ネットワーク施工、技能五輪大会(千葉)の視察を含む本邦での研修
今後の両国間の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・2014年に日越間で取り交わした覚書に基づき、日越間での中長期的な計画の策定を検討していくこと、越側で予算確保の申請を行っていくことを確認した。 越側において本事業で支援している職種の国家検定化するために注力していくことも確認した。

■ インドネシア

日時 参加者	2022年3月8日(火) インドネシア8:45-10:15、日本12:45-14:15 (金属・機械加工分野試験協会(LSP-LMI)、厚生労働省、 インドネシア金型工業会(IMDIA)、SESPP事務局)
参加者数	12人 ※政府、訓練校など
今年度実施した 職種の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・機械製図(CAD製図)2級 技能評価者講習、技能評価トライアル ・ASEAN技能評価担当者セミナー
次年度の職種に 係る主な議論	<p>《技能競技大会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標：技能競技種目のレベルアップ ・日本人専門家によるデモンストレーション・セミナー、技能競技委員の訓練・模擬競技等の実施 <p>《技能検定》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標：技能検定の定着及び実施職種のレベルアップ ・2021年事業のフォローアップ(セミナー、技能評価トライアル)。 ・職種・等級案 日本側提案：機械製図(CAD作業)2級 技能評価トライアル、評価者認定 インドネシア側希望：機械製図(CAD作業)1級 技能評価者講習、技能評価トライアル、
今後の両国間の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・インドネシア側から機械製図(CAD作業)に関して、1級を実施したいと希望があった。2年現地研修を実施出来ておらず、本来ならば評価者認定を優先すべきところ、実施方法、実施内容等を専門家と協議し検討していくことを確認した。

■ カンボジア

日時 参加者	2022年3月11日(金) カンボジア09:00-11:00、日本11:00-13:00 労働・職業訓練省(MoLVT)、厚生労働省、NPIC、NTTI、PPI、ITI、JICA事務所、 SESPP事務局
参加者数	20人 ※政府、訓練校など
今年度実施した 職種の成果	<p>技能競技大会セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報ネットワーク施工 <p>技能検定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配電盤制御盤組立2級 技能評価者講習 ・シーケンス制御2級 技能評価者講習、技能評価トライアル ・電気系保全3級 技能評価トライアル、評価者認定 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本邦研修代替オンライン研修：電気系保全3級の技能評価技法研修 ・ASEAN技能評価担当者セミナー
次年度の職種に 係る主な議論	<p>《技能競技大会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標：新たな技能競技種目の実施に向けた技能競技運営方法、採点・評価方法の習得 ・日本人専門家によるデモンストレーション・セミナー、技能競技委員の訓練・模擬競技等の実施 ・職種案：情報ネットワーク施工 <p>《技能検定》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標：国家検定制度の構築、SESPP協力職種のアセスメントセンター認定 ・2021年事業のフォローアップ(シーケンス制御3級SET/SAC、配電盤制御盤組立2級SET/SAC、電気系保全3級SET)。 ・カンボジアの国家検定制度構築への協力 <p>《本邦研修》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報ネットワーク施工、技能五輪大会(千葉)の視察を含む本邦での研修
今後の両国間の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・カンボジア側から次の2つの要望が出された。①日本の技能評価システムをカンボジアの仕組みに合わせて導入するための検討チームを日・カンボジア間で作り、カンボジアの技能検定システム構築に取り組みたい。②情報ネットワーク施工職種の選手育成の支援をお願いしたい。 ・①について協力方法を検討していくことを確認。カンボジアにおけるSESPP支援職種の国家技能検定化を進めていくこと、カンボジアで試験的に行っている技能検定にSESPP支援職種も加えることが必要であることを共有した。

□研修レポート

■ベトナムにおける技能競技大会セミナー

SESPPでは、本年度より、技能競技大会を実施・運営する人材を育成するセミナーを実施しております。今回はベトナムにおいて、技能競技大会の実施・運営方法、採点・評価方法に係る能力を付与することを目的として、情報ネットワーク施工職種の技能競技大会セミナー(競技課題採点・評価方法セミナー・AMM)が実施されました。

情報ネットワーク施工は、ベトナムでも技術者のニーズが高く、人気の職種のひとつです。

オンライン研修のメリットを活かし、2021年11月27日(土)と2022年1月14日(金)～15日(土)の2回に分けて研修を実施しました。また、ベトナム側の研修実施施設はヴィンロン技術師範大学(VLUTE)でしたが、他の訓練施設からの受講希望者はオンラインでオブザーバーとして参加しました。(受講者は、第1回目エキスパート39名、選手10名、第2回目エキスパート48名、選手12名でした)

第一回目は、菊池拓男氏(職業能力開発総合大学校)より、技能五輪等国際大会において、参加選手が優秀な成績を収める為のチームづくりと指導者に必要な資質、選手育成方法、データ分析に基づく戦略、訓練計画立案などの講義、伊藤進氏(株式会社きんでん)より、自身が行っている選手育成方法の講義に続き、VLUTEでベトナム代表選手が行う実技実演をモニターしながら、指導法に関して講義をいただきました。

第2回目は、日本側から技能五輪国際大会ゴールドメダリストによる実技実演をもとに選手育成方法に関する指導をいただきました。

講師の菊池拓男氏からは、『ベトナムの実力も非常に高くなってきていると感じる。しかし、同時に国際技能競技大会(WorldSkills Competition)のレベルも非常に高くなってきている。大会で結果を出せる技能を持った選手を輩出できるように理論と実践を習得してもらいたい。』、また、伊藤進氏からは、『ベトナムの選手がとても優秀で驚いている。しかし、メダルを獲得するには今以上の努力が必要となる。そして出場するからには結果を出して、メダルを取れることを願っている。』との講評をいただきました。

受講者からは、『エキスパートは、より多くのトライアルを経験すべきと思う。』、『感染症収束後、ベトナムで対面式の研修やデモンストレーションを実施して欲しい。』とのコメントが寄せられました。



■ASEAN技能評価担当者セミナー

ASEAN各国の技能評価担当者、職業訓練指導員を対象に、技能検定と技能競技大会で構成される日本の技能評価システムの運営方法の説明、デモンストレーション、各国の技能評価システムの現状の共有などを行うことにより、ASEANとして取り組む技能標準作りや、技能競技大会の実施を支援することを目的として、ASEAN技能評価担当者セミナーが2022年1月18日（火）～20日（木）に実施されました。

参加は5ヶ国（インドネシア・カンボジア・マレーシア・タイ・ベトナム）で、オンライン実施のメリットを活かし、各国より行政官を含む複数の方に参加いただきました。（合計14名）

セミナーの内容は、厚生労働省人材開発統括官付海外協力室担当者、SESPP事務局技術顧問により『日本の技能検定制度』についての講義、機械製図CAD作業の技能検定及び競技大会の概要に関して専門家より講義いただきました。また、参加国行政官より、各国の技能検定制度、技能競技大会の現状や課題、今後の取組み等を発表いただき、参加国間で共有いたしました。

稲川文夫氏(SESPP事務局技術顧問)からは、『今回のセミナーの目的は、参加国で実施している技能検定と技能競技大会に関する情報を交換し、経験とノウハウを共有することによって、皆さんの国で技能検定や技能競技大会の改善や拡充に役立てていただくことです。また、3日間のセミナーを通して、参加者皆さんの間でネットワークが構築されたので、より詳細な情報を得たいと思ったときは、容易に連絡が取れる状況になったと思います。SESPPは、全参加者が皆さんの国において技能評価システムを改善し、拡充して実りある成果をあげられることを期待しています。』との講評がありました。

また、参加者からは、『機械製図CAD作業のセミナーに関する知識や資料を自国に導入したい』、『日本式の技能評価システムの講義が有益だった』、『ASEAN各国の技能評価システムを共有できたことで、技能検定や技能競技大会の更なる発展への相互啓発になると思う』等のコメントが寄せられました。



発行：SESPP事務局(株式会社JTB 霞が関事業部)

『J-Skills News』に関するお問合せ

SESPP事務局(株式会社JTB 霞が関事業部)

〒100-6051 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング23階
 TEL：+81-3-6737-9261 FAX：+81-3-6737-9266
 担当：近藤・横山・岩下・岩城
 E-mail：sespp@jtb.com